

■ジオ柏の葉キャンパス

『ジオ柏の葉キャンパス』は、つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅から徒歩6分でありながら、自然豊かな環境に恵まれた、日常と非日常が溶け合うポジションにあり、コンセプト「STAYCATION」(=STAY+VACATION)の下、街との調和を図りつつ、その特性を最大限に活かしました。



柏の森の再生

敷地内に美しい原風景「柏の森」を再現し、地域景観に寄与するとともに、防災拠点になる緑の小路や広場（公開空地）を配しました。

また、敷地の高低差を活かし、高原のような広場を設けることで、家なピクニックやデイキャンプを楽しめるようにしました。



高原リゾートホテルをイメージした建築デザイン

共用棟は、住居棟と独立させ、リゾートのクラブハウスとして設定し、NYブルックリンの倉庫を想わせるレンガ調で統一しました。

住居棟は、高原リゾートホテルに見られる庇とマリオンで陰影を強調しつつ、阪神間モダニズム建築の要素も取り入れました。



毎日を休日のように過ごせる住空間

専有部には当社のサイクル型商品開発プロジェクト「ジオフィットプラス」から生まれたアイデアをアレンジし、リゾートステイの居心地を追求することで、コテージにいるような気持ちのいい空間を実現しています。



審査員コメント

ジオ柏の葉キャンパスは、駅徒歩6分の場所にありながら、「柏の森」再生を目指し、敷地の約11%の緑地面積を実現している。

本プロジェクトでは、キャンプができる芝生の森、植物のトンネルのような曲がりくねった小径、ベンチのある共用庭など、丁寧な外構計画がなされている。まとまった大きな広場ではなく、敷地全体にひろがる庭は、散策やピクニック、日常のおしゃべりなど、生活に根ざした庭と共にある暮らしを創り出していて、その点が高く評価された。

防災拠点にもなる緑の小道や広場（公開空地）は近隣住民にも開放していて、植栽にはかつて自生していたであろう樹種が選定された。地域に貢献する集合住宅の好事例と言える。

物件概要（ジオ柏の葉キャンパス）

所在地	千葉県柏市若紫字アラク 133 番 1 他（地番） 千葉県柏市若紫字北ノ下 93 番 2 他（地番）
交通	つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅 徒歩 6 分
敷地面積	8,426.40 m ² （道路後退部分を除く）
建築面積	2,822.07 m ²
延床面積	18,288.93 m ²
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 13 階、地下 1 階
総戸数	226 戸
事業主	阪急阪神不動産株式会社、ファーストコーポレーション株式会社
竣工年月	2019 年 4 月

■ シーンズ塚口

コンセプト「Re:CONNECT」の下、『まちと、「つながる』』、『緑と、「つながる』』、『未来と「つながる』』をテーマに、人々の暮らしと社会に貢献する集合住宅を目指して開発を進めました。



まちと、「つながる」

従前の社宅の配棟計画を一新し、敷地の際から建物を十分にセットバックさせて、街並みの開放性を高めています。

また、隣接する小学校のスクールゾーンに面する敷地北側には、ゆとりある空地と小路を整備して通学路の安全性を飛躍的に向上させたほか、ベンチを置いて開放的な交流の場を創出しました。



緑と、「つながる」

豊かな自然に包まれながら、地域・世代を超えて触れ合える生活舞台として、3つの異なるテーマを持つ庭を配しました。

邸宅へのメインアプローチにある「アクアガーデン」には水盤を設けており、木々のシルエットを浮かべる静かな水面が、眺める方々の心に豊かな潤いを届けます。



未来と、「つながる」

安心の未来のために、先進の環境・防災性能を備えた「防災対応型マンションコージェネシステム」などの設備を導入しました。

また、人々のモノに対する価値観が「所有」から「共有」に変わりつつある現状を捉え、入居者用の各種シェアリングサービスを用意したほか、野菜や植物を育てられる「シェアファーム」を配し、入居者同士のつながりを感じられるようにしました。



審査員コメント

配置計画により、地域に開かれたランドスケープを実現しているのが素晴らしい。特に3種類の庭は、それぞれ楽しみ方も異なりそうで、実際の使われ方への興味が湧く。一方で、実際の細やかな設計が生み出す具体的なつながりについては、今後の実際の供用が進んだ時点での経過に関心が持てそうだ。

物件概要 (シーンズ塚口)

所在地	兵庫県尼崎市東塚口町1丁目488番1 (地番)
交通	J R宝塚線「塚口」駅 徒歩3分、阪急神戸線「塚口」駅 徒歩11分
敷地面積	6,308.18 m ²
建築面積	2,251.51 m ²
延床面積	14,930.46 m ²
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上15階
総戸数	166戸 (管理事務室等を除く)
事業主	大阪ガス都市開発株式会社、近鉄不動産株式会社、阪急阪神不動産株式会社
竣工年月	2020年1月